

行事予定

9月16日(金)
東京教区無相教会発展拡充大会
9月17日(土) 龍雲寺ダンマトーク
横田南嶺老大師様
9月23日(金・祝) 秋季彼岸会
10月11日(火)～12日(水)
無相教会全国奉詠大会 於大本山妙心寺
11月3日(木・祝)～5日(土)
野沢龍雲寺 盤珪・白隠曝涼展(予定・仮)
12月初旬 子ども会餅つき大会【開催未定】
12月31日(土) 除夜の鐘【未定】
※感染症の状況により、中止または縮小開催となります。総代世話人会で最終判断させていただきます。

龍雲寺墓地について

現在、業務用ゴミ回収の分別がとても厳しくなっております。ビン・缶・ペットボトルなどの「燃えないゴミ」は、捨てずにお持ち帰りください。地域の方々に迷惑をおかけしないためにも、ご理解ご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

龍雲寺総代世話人・龍雲寺



編集後記

○皆様いかがお過ごしですか？八月十五日から二泊三日で妙心寺のお精霊送りと五山送り火の旅に皆様をお連れして来ました。コロナのお守り保険に加入して感染対策や熱中症等に気を付けた旅でした。帰宅後、皆様にお電話して体調をお尋ねしましたがコロナに感染された方は無くて良かったです○法堂では管長猊下ご導師の下、法要に参列、龍雲寺支部の会員は初めて御詠歌を光栄にも献詠させて頂きました。二時間近く正座をしていましたが緊張で足の痺れも感じませんでした○今年の五山送り火は三年ぶりの全山点火でした。直前まで凄しい雷雨で八時の点火の頃、突然雷雨が止み、山々の上には雲が無く、空気が澄んで宿泊していた花園会館の屋上で、はっきり綺麗な大文字が椅子席で拜めました○猛暑なので初日は涼しい貴船の川床で翌日は精進料理、美味しいお料理を頂き、朝粥や、おやつは宇治金時、クリームあんみつなどでした○冷房の効いた花園会館でお写経や匂い袋と友禅染めの講習会をしました。素敵なお作品が出来上がり、ご自分の作品に、うっとりされていました○母一人では心配なので今回も息子さんや娘さん達が参加されました。もう来年の旅の申し込みがあり嬉しく思います○方丈さんは友禅染めは何回かしていたので、手慣れた手つきで風呂敷にお地藏さんを染めていました。前回はトートバッグに風神雷神を染めて今も使っています○境内にトンボが飛んでいます。早く秋が来て欲しいです。皆様お元気で、お彼岸会に、是非お参り下さい。お元気で。 要子

花園会費のお願い

龍雲寺では毎月の「花園」の発送にともない、年額1,000円の花園会費をいただいております。お寺にお越しいただいた時などにおさめていただければ幸甚です。

城南信用金庫 駒沢支店

普通 601772

宗教法人 龍雲寺 宛

※こちらの口座は花園会費専用となっております。

臨済宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇二二年 秋彼岸号

監修／細川晋輔

編集／細川要子

〒一五四一〇〇三
東京都世田谷区野沢三三八一

TEL〇三―三四二一―〇二三八
FAX〇三―三四一八―九八六三

野沢龍雲寺

検索

ご挨拶

住職 細川 晋輔

暑い酷暑も一段落、秋の気配も感じるようになりました。毎週本堂で行われる早朝の坐禅会は冷暖房を使用しませんので、より一層四季の移り変わりを体感することができます。

夏から秋へと移り変わりを感ずるものに虫の鳴き声があります。夜には鈴虫が鳴くようになり、昼間の蝉たちの大合唱も夏の盛りとは比べものにならないほど静かなものがあります。

「頓(やが)て死ぬ けしきは見えす 蟬の声」

松尾芭蕉の俳句です。私はテレビの俳句番組が大好きで、十七文字に込められた作者の思いに胸がときめくのです。「頓て」とは「いつしか」ということではなく「間もなく」という意味で、「けしき」は「様子、兆し」をさしています。松尾芭蕉は禅に造形が深く茨城県の鹿島の根本寺や、東京深川の臨川寺で、仏頂禪師について禅の修行をして、禅の奥義に達したと言われているのです。

蟬の幼虫は数年間地中で過ごし、地上に出てくるのは成虫となったわずか一週間たらずです。それでも「蟬は間もなく死ぬ兆しも見せず、一生懸命生きて鳴いているではないか」という俳句であるのです。蟬たちの声を暑苦しいと感じてしまうことも、何か他の事にとらわれているとその鳴き声すら耳に入ってこない私たち。少しの時間静か

に立ち止まってみると、必死に生きている蝉たちの声と向き合うことができるのです。きつとその声を聞いた松尾芭蕉は「私たちも一生懸命生きよう」とその人生に活かしていかけたのです。ありふれた蝉の声から人生の真実を見出すことこそ禅の教えであるのです。

「花が咲いている 精一杯咲いている 私たちも精一杯生きよう」

祖父である松原泰道師の大切にしていた言葉です。このように亡くなられた方々、先人たち、ご先祖様の言葉は、今なお生きる私たちを導いてくれているのです。「先祖を敬い故人を偲ぶ」という秋の彼岸に際し、ぜひ墓参と秋季彼岸会にお参りいただき、忙しい毎日から少し立ち止まって大切な故人との対話をしていただければ幸甚でございます。

令和四年 秋季彼岸会 縮小開催のお知らせ

九月二十三日(金・祝)に予定していた秋季彼岸会ですが、昨今の感染症拡大防止のため、法話・お茶やおはぎ等のご接待を中止とし、三密を防ぎながら消毒や換気に注意し、春の彼岸と同様に縮小して行わせていただきます。

九月二十三日(金祝) 十三時 法要のみ厳修(ご焼香いただけます)

※塔婆は当日午前八時より随時お渡しさせていただきます。尚、ご欠席の方のお塔婆につきましては、当日の午後には寺の方であげさせていただきます。お塔婆料は後日いつでも都合のよろしい時にお持ちくださいませ。

おてらおやつクラブ 全国巡回展レポート

先日龍雲寺会館において「おてらおやつクラブ巡回展」を無事開催することができました。ご尽力頂いたボランティアの方々やご来場頂いたみなさま、また見守って下さった檀信徒の方々に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

会期中、企画展や講演会には多くの方にご来場いただき様々なお力添えを賜りました。

寄付として七万五千五百円、寄贈品として136キログラム(内お米12キログラム)をお供えいただきました。お預かりした寄付並びに寄贈品は、会期中の「箱詰め体験」で困窮家庭へ送らせていただき、送りきれなかったものは奈良県にある事務局にて仕分け・発送をいたしました。

今回の巡回展を通して様々な方々のお気持ちとのご縁を賜りました。このご縁を大切にしていり多くの困っている家庭へとおすそわけをし続けてまいりますので、何卒皆様のご協力を頂ければ幸甚に存じますので、これからも宜しく願い申し上げます。



写経会再開のお知らせ

令和四年九月一日(土)より写経会を再開させていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

感染症対策としてマスクの着用、玄関での検温のご協力をお願い申し上げます。

また、会場が密とならないようにするため、はじめて参加される方のみホームページでの予約をお願い申し上げます。

これより開始時間を午後一時から二時へと変更させていただきます。午後一時半までは入場できませんので、ご注意ください。本堂での法要との両立が困難のためご了承ください。

いただければ幸いです。終了時間は今まで通り午後四時となっております。般若心経の奉読は、午後二時半を予定しております。

龍雲寺



龍雲寺ダレマトーク(法話会)

本堂での参加は締め切りになりました。当日、野沢龍雲寺YouTubeでご視聴いただけます。

【日時】9月17日(土)

午後3時半より5時まで

【講師】臨済宗円覚寺派管長

横田南嶺老大師

【場所】龍雲寺本堂

【参加費】無料

【演題】『達磨大師の教え』



募集中

詳しくは龍雲寺まで

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

お寺までご連絡下さい

◆早朝洗心坐禅会(要予約)

※再開致しました(オンラインも開催)

毎週日曜日(7時~8時30分)

朝7時30分~8時30分(オンライン)

会費 無料

※詳しくはホームページをご覧ください。

◆写経会

(しばらくは初参加の方のみ
ホームページにて予約制とします)

※9月より再開予定

毎月第2土曜日 1時~4時

(但し、2月は第3土曜、7月、8月はお休み)

納経料は一巻500円(龍雲寺に納経)

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

厚木市・間修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。

【日時】毎月第一日曜日

※3月・8月 休会

午後3時から

【参加費】大人800円、子ども無料

(家族料金800円)

申し込み、お問い合わせはお寺まで

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ等があります。

